

2025 年 7 月 22 日

各 位

会 社 名 フューチャー株式会社
代 表 者 名 代表取締役会長兼社長 金丸 恭文
(コード番号 4722 東証プライム)
問 合 せ 先 ファイナンシャル&アカウンティンググループ
執行役員 松下 恭和
(TEL (03) 5740 - 5724)

「次世代バンキングシステム」 2 行目稼働開始のお知らせ

当社の主要事業会社であるフューチャーアーキテクト株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：谷口友彦、以下フューチャーアーキテクト）は、SBIホールディングス株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：北尾吉孝）との業務提携に関する基本合意に基づき SBI 地方創生バンキングシステム株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：木村紀義）に提供する「次世代バンキングシステム」を、株式会社島根銀行（本店：島根県松江市、取締役頭取：長岡一彦、以下島根銀行）に導入し、当初の計画通り 2025 年 7 月 22 日に安定的な稼働を開始したことをお知らせします。

「次世代バンキングシステム」の導入は、本プロジェクトで 2 行目です。構築にあたっては、これまでのノウハウをベースに効率化を図り、導入 1 行目の福島銀行の稼働から 1 年で本番稼働を実現しました。フルオープン API を備えた勘定系システムによって外部連携を迅速にし、これまで「維持・保守」に集中していた金融機関のシステム投資を「戦略」中心に切り替えていくことで、地域金融機関の DX を実現します。

本件の概要については下記をご覧ください。なお、本件は東京証券取引所の適時開示基準には該当いたしません。

記

1. 本件の概要

2 頁以降をご覧ください。

2. 業績への影響

本件は、2025 年 2 月 4 日にお知らせしました、「2024 年 12 月期決算短信〔日本基準〕（連結）」の 2025 年 12 月期の連結業績予想に織り込み済みであり、当期の業績への影響は軽微であります。今後、公表すべき事象が生じた場合は、速やかにお知らせいたします。

以上

2025 年 7 月 22 日
フューチャーアーキテクト株式会社

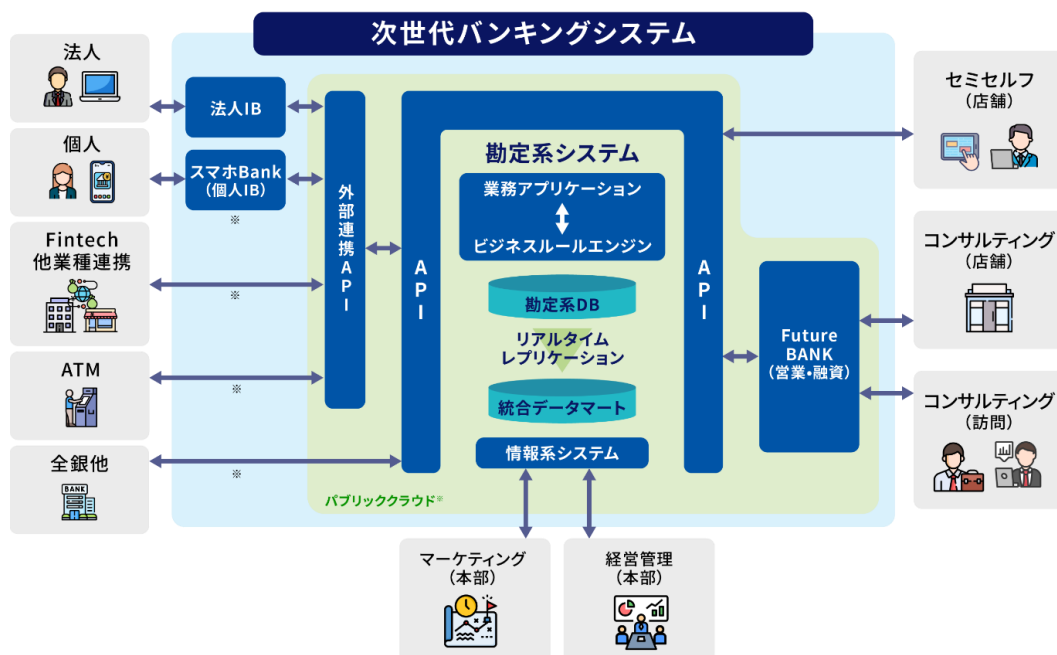
フューチャーアーキテクト、島根銀行に導入した「次世代バンキングシステム」が稼働開始 フルオープン API を備えた勘定系システムで地域金融機関のDXを実現

フューチャーアーキテクト株式会社(本社:東京都品川区、代表取締役社長:谷口友彦、以下フューチャーアーキテクト)は、SBIホールディングス株式会社(本社:東京都港区、代表取締役社長:北尾吉孝)との業務提携に関する基本合意に基づきSBI地方創生バンキングシステム株式会社(本社:東京都港区、代表取締役:木村紀義)に提供する「次世代バンキングシステム」を、株式会社島根銀行(本店:島根県松江市、取締役頭取:長岡一彦、以下島根銀行)に導入し、当初の計画通り 2025 年 7 月 22 日に安定的な稼働を開始したことをお知らせします。

「次世代バンキングシステム」の導入は、本プロジェクトで 2 行目です。構築にあたっては、これまでのノウハウをベースに効率化を図り、導入 1 行目の福島銀行の稼働から1年で本番稼働を実現しました。フルオープン API を備えた勘定系システムによって外部連携を迅速にし、これまで「維持・保守」に集中していた金融機関のシステム投資を「戦略」中心に切り替えていくことで、地域金融機関の DX を実現します。

島根銀行は 2025 年 4 月に開始した新中期経営計画において「ふるさと山陰活性化プロジェクト」を掲げ、地域との関わりや地域社会との連携を意味する「ローカルエンゲージメント」の向上を目指しています。フューチャーアーキテクトは、島根銀行の IT 戦略パートナーとして銀行業務とシステムの理想像をともに描き、「次世代バンキングシステム」を構築しました。デジタルシフトによる「事務の効率化・省力化」「人員の再配置」「営業体制の効率化」を実現し、地域活性化のエンジンとして貢献します。

「次世代バンキングシステム」は、フューチャーアーキテクトが全国 30 行以上の地域金融機関の改革を支援してきた実績とノウハウをもとに、地域金融機関に求められるバンキングサービスを再定義し、構築したものです。多数の採用実績のある最新テクノロジーを用いてゼロベースで最適を追求したクラウド型基幹系業務システムで、業務プロセスを整理し、勘定系コア機能をシンプルにしたアーキテクチャを採用していることが最大の特長です。全てのバンキングサービスを API で提供できるため、制度変更や新しいサービスの拡充に柔軟かつスピーディに対応できるほか、銀行ごとに異なるビジネスルールや商品、サービスをルールエンジン化することで、コアプログラムに修正を加えず、新たなキャンペーンの展開や既存サービスの改修が短時間かつ低コストでできます。さらに、各システムに分散する顧客情報を一元化することで、リアルタイムデータを活用した経営分析や戦略立案を可能にし、窓口用の専用端末を不要とする店舗業務のデジタル化によって、コスト削減や業務効率化を図ります。



※「スマホ Bank (個人 IB)」「Fintech 連携 API」「ATM」「全銀他」等の対外接続系「SBI 金融クラウド(AWS)」は SBI グループの提供です。

フューチャーアーキテクトは、科学的なコンサルティングアプローチと技術力で地域金融機関のビジネス変革や経営戦略の実現を IT と経営の両面から支援し、今後もお客様とともに新たな価値を創造します。

■次世代バンキングシステムの主要システムと特長

次世代バンキングシステムは以下の主要システムで構成されています。勘定系システムのみならず、情報系システム、営業・融資支援システム、営業店システム、インターネットバンキングシステム等を包含し、地域金融機関に求められる業務機能の全域をカバーしています。

●主要システム

- ・スリムかつコンパクトな『勘定系システム』
- ・リアルタイムデータを提供する統合データマートを活用した『情報系システム』
- ・営業・融資業務の効率化を実現する『FutureBANK』
- ・顧客チャネル拡大に柔軟に対応する『外部 API 基盤』
- ・スマートフォンやタブレットに最適化された先進的 UI を提供する『個人・法人インターネットバンキング』

●特長

1. ビジネスの変化に柔軟かつスピーディに対応

勘定系コア機能をシンプルかつスリム化し、変化に強い先進的なアーキテクチャを採用。銀行ごとに異なるビジネスルールや商品、サービスをルールエンジン化することで、コアプログラムに修正を加えることなく、新しいサービスの拡充や制度変更にも柔軟かつスピーディに対応。

2. バンキングサービスの API 化によるデジタルチャネルの拡充

全てのバンキングサービスが API で提供可能。『個人・法人インターネットバンキング』や『外部 API 基盤』を介して、お客様や Fintech 事業者をはじめとする提携事業者に様々な金融サービスを提供し、アクセスチャネルを多様化。

3. 営業・融資業務をワンストップに。店舗業務をデジタル化

業務領域ごとに分散していたシステムやツールを統合し、営業店と本部が業務をワンストップで遂行できる環境を整備。窓口用の専用端末を別途用いることなく、営業店におけるすべての業務を汎用 PC やタブレット端末のみで完結するため、省スペース化と完全ペーパーレス化を促進。店舗業務改革による、業務効率化を実現。

4. リアルタイムデータを活用したマーケティングや経営戦略策定を支援

スリムかつコンパクトな『勘定系システム』や『FutureBANK』で管理するデータを『統合データマート』にリアルタイムで連携。マーケティングや経営分析レポートなど目的にあわせたデータ利活用を可能とし、業務効率化や機動的な経営戦略の推進をサポート。

*参考プレスリリース

フューチャーアーキテクト、島根銀行の DX 推進を支援

2025 年の本稼働へ向け「次世代バンキングシステム」2 行目の導入

https://www.future.co.jp/architect/press_room/PDF/PressRelease_JisedaiBankingSystem_20230130.pdf

フューチャーアーキテクト、福島銀行に導入した「次世代バンキングシステム」が稼働開始

クラウド型基幹業務系システムにより地域金融機関の投資を「維持・保守」から「戦略」に

https://www.future.co.jp/architect/press_room/PDF/PressRelease_FAJisedaiBankingSystem_240716.pdf

■本件に関するお客様からのお問合せ先

フューチャーアーキテクト株式会社 小松

お問い合わせフォーム：https://www.future.co.jp/apps/contact/fai/project_experience_entry.php

■本件に関する報道機関からのお問合せ先

フューチャーアーキテクト株式会社 広報担当：清水、石井、小船

TEL：03-5740-5721

お問い合わせフォーム：https://www.future.co.jp/apps/contact/fai/press_interview_entry.php